

関西物流改善事例発表会2021

テーマ: 環境変化に対応し、進化する物流現場

●開催日時

2021年10月20日(水) 10:00~16:15

●開催場所

ホテルマイステイズ新大阪 コンファレンスセンター

(大阪市淀川区)

<オンラインライブ配信(Zoom)も実施します! >

(公社)日本ロジスティクスシステム協会、(一社)日本物流資格士会西日本委員会では『関西物流改善事例発表会2021』を開催いたします。

本発表会は物流の実務に焦点をあて、物流現場担当者の方々の方々の日々の改善へのお取り組み、小集団活動等による成果事例等、現場の改善事例を中心に広く募集し、その発表を通じて、物流業務の効率化や生産性の向上、ローコストオペレーション、環境負荷低減活動などを推進するためのヒントや課題を物流の実務者同士が情報共有し、交流することを目的としております。

皆様からのご参加お待ちしております。

事例発表企業

1 ケービーエスクボタ(株)

5 田中精密工業(株)

2 (株)ハンナ

6 鴻池運輸(株)

3 (株)アバンテ

7 郵船ロジスティクス(株)

4 (株)宮田運輸

8 ワコール流通(株)

【特別講演】

2021年度物流合理化努力賞【物流業務部門】

アサヒロジ株式会社

関西物流改善事例発表会 2021 プログラム

10:00~10:05	【開会挨拶】	高田 充康	関西物流改善事例発表会 2021 実行委員会委員長 オムロン住倉ロジスティック(株) 代表取締役社長
10:05~10:15	これからのロジスティクスのあるべき姿(仮) 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 専務理事 寺田 大泉		
10:15~10:45	発表1.「出荷クレーム件数の削減」	ケービーエスクボタ株式会社 機械物流部 宇都宮空調物流センター 大岩 泰幸 氏	宇都宮空調物流センターでは、2019 年度に入り前年比 2.8 倍のクレームが発生した。現状把握から荷役作業における「パネル破損」と「誤出荷」が大きな問題として浮かび上がってきた。特性要因図により重要要因を選定し、パネル破損に対しフォークリフトでの製品滑り防止の工夫、誤出荷に対し、帳票類の改善などを実施した。その結果、クレームは 75%の削減を達成し、また、荷締めによる破損も 50%削減という副次的効果もあった。 【取扱製品】空調機
10:45~11:15	発表2.「AIOCR 活用による管理業務の効率化」	株式会社ハンナ 経営管理部 総務課 米澤 友海 氏	管理業務全般がアナログ対応となっており、経理及び労務に関しては完全に属人化された業務となっていた。昨年新たに創設されたリスクマネジメント部署にて問題提起があり、IT 化可能な業務の棚卸しを実施。勤怠管理及び給与計算について、AIOCR の導入を進めた。さらに人的資源の配置の見直しも実施し、管理スタッフ全員の生産性向上につながった。その結果、管理コストを 30 万円/月の削減に成功した。 【取扱製品】食品・日雑・文具関連等
11:15~11:25	休憩		
11:25~11:55	発表3.「特定商材の 3PL 化による保管スペースの確保、作業生産性向上の取り組み」	株式会社アバンテ 取締役 物流部 部長 山下 哲夫 氏 (第 143 期物流技術管理士)	物量の増加により、保管スペースの困窮や納期遅延等が慢性化していた。そこで、実現性・効果等の検証および、荷主企業と協議した結果、特定商材については 3PL 化(外部委託)を実施した。その結果、荷主の他商品保管スペースを確保することに成功。また、作業生産性も 19.7%向上、路線業者への引き渡し遅延も週 2~3 回あったが、0 回と改善された。 【取扱製品】住宅改修商材・介護関連商材
11:55~12:25	発表4.「交通事故削減の取り組み~こどもミュージアムプロジェクト~」	株式会社宮田運輸 国際 GSV 事業部 顧 麗娜 氏	日々の点呼、デジタコ等でのドライバー管理だけでは事故の減少につながらなかった。交通事故を契機に、人や物を大切に思う気持ちを育むことを目的にこどもたちの描いた絵やメッセージをトラックにラッピングを施した。現在では、工場の壁面や自動販売機などにもラッピングを展開。ドキュメンタリー映画の製作、みらい会議などを実施し、交通事故撲滅に尽力した結果、事故率は 50%以上の低下となった。 【取扱製品】ラッピングトラックなど
12:25~13:25	昼休み		
13:25~13:55	発表5.「運搬における載せ替え作業のムダ時間削減~重筋作業からの解放~」	田中精密工業株式会社 事業開発部 マーケティンググループ グループリーダー 山口 仁史 氏	1 箱 12kg の通箱を何十箱も台車からパレットへ載せ替える重筋作業を行っていた。この常態化している作業に着目し、解決案を検討。載せ替え作業を無くし台車のまま運搬できる「トラパレ」を製作した。その結果、重筋作業から解放され、女性や高齢労働者の方でも容易に作業ができるようになった。また、載せ替えムダ作業時間も 913.5 分/月が 0 分となった。 【取扱製品】機械部品、トラパレ

13:55~14:25	発表6.「車上玉掛作業の安全取り組み」	鴻池運輸株式会社 鉄鋼本部 関西支店 業務部 桜島営業所 チーフリーダー 佐々木 康介 氏	他社ドライバーによる車上玉掛作業は転落防止処置が十分といえない状況であった。そのため、車両を受け入れる工場側にて①可搬式転落防止用デッキの製作②コイル固定用クランプの製作③車上玉掛作業の請負化(専属者の配置)を実施し、転落・挟まれ防止対策を行った。その結果、2020 年 10 月以降災害発生 0 件を達成している。 【取扱製品】コイル
14:25~14:35	休憩		
14:35~15:05	発表7.「RPA を使った送り状発行の簡素化」	郵船ロジスティクス株式会社 西日本営業本部 大阪ロジスティクスソリューションセンター クロスドック課 課長補佐 菅原 健太 氏 (第 83 期物流技術管理士)	1 日あたり 200~300 件の送り状発行を 3 つのシステムを使い作業していたため、時間がかかっていた。そこでこの作業を RPA で対応できないかを検討。RPA 会社のサポートのもと、一部マニュアル作業が残ったものの、自動化に成功し、人手を割くことなく送り状を発行することができるようになった。その結果、1 日当たり 1.5 時間の時間削減となり、担当スタッフは別の業務にあたることできるようになった。
15:05~15:35	発表8.「『返品計上作業時間がゼロに!! 年間 2,000 時間の削減』~圧倒的成果を上げた RFID 技術の活用 Vol.1~」	ワコール流通株式会社 守山流通センター 流通2課 主任 加藤 見咲季 氏 守山流通センター 流通2課 チーフ 堤 うらら 氏	ワコールが進める RFID 技術の活用として直営店ブランドの返品計上作業の改善を行った。改善前はハンディターミナルによる作業のため、年間 2,000 時間の作業負荷が課題となっていた。今回 RFID ゲートの導入により返品商品の移動途中のゲートを通過させるだけで計上が完了し、作業時間は実質ゼロと飛躍的に改善した。 【取扱製品】女性用インナー商品
15:35~15:40	記念品贈呈 高田 充康 関西物流改善事例発表会 2021 実行委員会委員長		
15:40~15:50	休憩		
15:50~16:10	特別講演. 2021 年度物流合理化努力賞(物流業務部門) 「ロット切り替え指示のマクロ化」	アサヒロジ株式会社 近畿圏支社 吹田支店 物流課 片山 凌 氏	対象業務は高度な業務スキルを必要とし、異動に伴う習熟期間は残業増加の要因であった。働き方改革も踏まえ、スキル習得時間短縮を目的としての取り組み。自動倉庫の製品ロット切り替え指示をマクロ化する事で、作業工程の約 84%を自動で行うことに成功。今まで 1 ヶ月かかっていた業務習熟期間を 1 週間まで短縮した。 【取扱製品】酒類・飲料
16:10~16:15	【閉会挨拶】	石寺 勝秀	関西物流改善事例発表会 2021 実行委員会委員 日本物流資格士会 西日本委員会 西日本委員長

関西物流改善事例発表会 2021 実行委員会委員一覧 (敬称略)	委員長 高田 充康	オムロン住倉ロジスティック(株) 代表取締役社長	委員 武田 重治	ダイキン工業(株) 物流本部 物流技術センター 室長
	副委員長 望月 彰	関西ロジスティクス(株) 取締役社長執行役員	委員 森口 智博	ダイセル物流(株) 安全品質推進部 次長
	委員 小谷 洋	ワコール流通(株) 代表取締役社長	委員 福松 仁志	大和物流(株) 環境事業部 環境営業グループ 担当課長
	委員 川井 裕也	SBS/ノーロジスティクス(株) 執行役員 国内営業本部 関西事業部長	委員 中原 明敏	西日本エア・ウォーター物流(株) 物流事業部 営業開発部 部長
	委員 吉澤 真樹	株式会社 NITTO ロジスコサービス 茨木物流センター センター長	委員 丸山 義弘	日本通運(株) 大阪支店 関西営業部長
	委員 浅香 辰也	ケービーエスクボタ(株) 取締役 総務部長	委員 石寺 勝秀	(一社)日本物流資格士会 西日本委員会 西日本委員長
	委員 兵庫 正能	ユーズミ物流(株) 営業本部 新規事業推進室 室長	委員 藤原 和豊	(一社)日本物流資格士会 西日本委員会 西日本委員
	委員 太期 健仁	コグサプライロジスティクス(株) CS/ヘルソン部 CS推進/CS/総務部 総務部長	委員 中西 学	富士運輸(株) 常務取締役(営業本部長)
	委員 杉本 守	佐川グローバルロジスティクス(株) 関西エリア エリアマネージャー	委員 三井 宏之	(株)フジゴ 物流事業担当 執行役員
	委員 佐野 伊織	サンダーロジスティクス(株) 在庫配置センター 課長	委員 桑波田 吉広	山村ロジスティクス(株) 営業推進本部 執行役員 営業推進本部長
委員 秋山 政泰	センコーグループホールディングス(株) 人材教育部 業務理事 部長	委員 柴田 吉政	レンゴロジスティクス(株) 営業本部 西部営業部 九州営業部 部長	

※都合により発表者、テーマが変更になる場合がございます。 ※新型コロナウイルスの感染拡大状況により、開催形式等が変更となる場合がございます。
※原則ご発表者は会場にてご発表予定ですが、新型コロナウイルスの感染拡大状況によりリモート発表になることもございます。

参加申込規程

参加料（会場参加・オンライン参加ともに同価格です。）

	参加料金(消費税込)
日本ロジスティクスシステム協会 会員 日本物流資格士会 会員	16,500円/1名
上記会員外	25,300円/1名

※上記料金には、昼食代は含まれておりません。

◆有資格者優待(フォローアッププログラム)

当協会では、有資格者のためのフォローアッププログラムを実施しております。本プログラムは、当協会主催の講座で習得した知識をより深め実践の場で活用できる能力を身につけたいという、有資格者からの強い希望を受けて、当協会認定の資格※をお持ちの方に、当協会主催のプログラムを、優待料金にてご提供するものです。実践力の強化、最新の情報収集の場として、ぜひご活用ください。

◇フォローアッププログラム参加料：11,000円/1名(消費税込)

フォローアッププログラムにお申し込み後、参加者が資格をお持ちでない方に変更になった場合は、参加料の差額を請求させていただきます。あらかじめご了承ください。

有資格者優待の該当保有資格をご確認ください。

※ロジスティクス経営士、国際物流管理士、グリーンロジスティクス管理士、物流技術管理士、物流現場改善士

参加定員(会場参加)

- 集合形式：150名、オンライン形式：150名(定員になり次第、締め切らせていただきます)

参加申込方法

- Webサイトからお申し込みください。

当協会ホームページの本プログラムのページよりお申し込みください。

トップ

講演会・大会

改善事例大会・
発表会

<http://www.logistics.or.jp/propulsion/enhancement/2021kansai.html>



参加料支払い方法

- WEB請求書で請求いたします。
- WEB請求書は原則として参加者のE-mail宛に送付いたします。それ以外をご希望の方は、協会への連絡事項欄にご指示ください。
- WEB請求書が届き次第、指定の銀行口座にお振込みください。
- お支払いは、原則として開催前日までお願いいたします。(開催後になる場合は、参加申込書の支払予定日欄に明記してください。)
- 振込手数料はお客様にてご負担願います。

【キャンセル規定】

開催7日前～前々日(開催日初日を含まず起算).....参加料(消費税を除く)の30%
開催前日および当日.....参加料(原則として消費税を除く)の全額

ご注意

- お申し込み時に会場参加もしくはオンライン参加をご確認いたします。
- 参加者全員にPDFテキストをメールにて事前にお送りいたします。
- 会場参加者につきましては、開催日当日、会場にてテキストをお渡しいたします。オンライン参加者にはテキストの配布はございません。なお、テキストのみの販売はいたしておりません。
- スライド内容を撮影する目的での写真撮影および講演内容の録音はご遠慮ください。

事務局

公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 関西支部
大阪市北区梅田2-2-22 ハービスENTオフィスタワー 19階
e-mail: kansai@logistics.or.jp

個人情報のお取り扱いについて

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は、当協会のプライバシーポリシー(<https://www1.logistics.or.jp/privacy.html>)をご覧ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本発表会に関する確認・連絡・参加者名簿の作成および当協会主催の関連催し物のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

会場のご案内

ホテルマイステイズ新大阪コンファレンスセンター

<https://banquet-mystays-shinosaka.com/#info>

〒532-0011
大阪市淀川区
西中島6-2-19
TEL:06-6302-5571

交通のご案内

- JR新幹線、
地下鉄御堂筋線
新大阪駅から徒歩5分



※お客様用の駐車場はご用意がございません。ご来場の際は、公共交通機関をご利用くださいませ。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

JILSでは、集合型事業の開催にあたり、厚生労働省の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」等に基づき、感染リスクの低減対策を徹底します。

- 適切な収容人数を設定、来場者間の適切な距離を確保した座席配置等を行います。
- 可能な限りドア・窓を開放し、会場内の換気に努めます。
- 消毒液を会場に設置し、入退場時の手指衛生を奨励します。
- 入場時に参加者の検温を行い、37.5度以上の方はご参加をお断りします。
- 会場では必ずマスクを着用していただきます。

詳しくは以下URLよりご確認ください。 <https://www1.logistics.or.jp/Portals/0/pdf/jils-coronataiou.pdf>

オンライン参加について

発表会会場での発表をオンラインライブ配信(Zoom利用)いたします。<オンラインでのご参加にあたり>
日本ロジスティクスシステム協会(以下「主催者」という)が定める「JILSオンライン研修受講にあたってご了承いただきたいこと」と、以下の事項に同意のうえお申し込みください。

- Zoomクライアントが使用できない場合はご参加いただけません。開催前に接続確認のご案内をいたします。
- 本発表会の参加者は申込時に登録した参加者に限定し、1人1台のデバイスでご参加いただけます。
- 主催者に起因する事由や不測の事態により通信が中断した場合は、録画した本発表会を期間限定で配信します。
- 参加者に起因する事由により通信が中断した場合は、主催者は責任を負わないものとします。
- 本発表会の録音、録音、撮影は禁止します。
- 参加者により運営を妨げるおそれのある行為がある場合、対象者の聴講を中止させることがあります。